

中野区議団では、生活相談・法律相談を随時実施しています。  
お困りごとがありましたら、  
どんなことでも、まずはお気軽にご連絡ください。

連絡・相談フォーム



一貫して  
求め続けてきました

## 平和の森小学校跡地 「売却方針見直し」へ



中野区は、「売却益を平和の森小学校新校整備の財源等に充当する」として、現・平和の森小学校跡地を売却する方針を示していました。しかし、「財源確保の見通しが立ったため売却方針は見直し、複合交流拠点として活用していきたい」という方向を示しました(昨年8月)。今年3月、活用の考え方を盛り込んだ【中野区有施設整備計画】を策定しました(右枠参照)。



現在の平和の森小学校

平和の森小学校跡地の売却方針に関する主な質疑は、裏面に掲載しました。また、売却方針の見直し以外にも多くの声を聞かせていただき、議会で取り上げてきました(主な質疑は右枠参照)。

現在、新校舎整備がおこなわれており、供用開始は2028(R10)年度の予定です。現在の教育環境および新校舎が、子どもたちにとって、そして、教職員の皆さんにとってよりよい環境となるよう、引き続き、取り組みます。これからも、ぜひ、声をお聞かせください。

### 平和の森小学校跡地の活用品

複合交流拠点として……

- 児童発達支援センター
- (仮称) 男女共同参画センター
- 中高生年代向け拠点施設
- 野方保育園
- 地域交流スペース

が示されています



日本共産党議員団は、「区有施設は安易に売却せず、住民参加での活用検討を」と、繰り返し、一貫して求めてきました。売却方針が見直されたことを歓迎するとともに、今後、公共施設として住民のために活用されるよう、引き続き取り組みます。

### 平和の森小学校に関するこれまでの浦野の質疑 (売却方針の見直し以外で)

- 旧沼袋小学校と旧野方小学校の統廃合見直し(H28年度時点では区内小学校で在籍児童最多)
- 新校舎建設が遅れる中で、正しい情報提供とその対策
- 支援員(当時は介助員)の増員
- 新校舎の早期建設

